

**令和5年度 学校自己評価表 (計画段階 (実施段階))**  
(定時制課程)

福岡県立小倉南高等学校長 印

⑨

学校運営計画 (4月)		評価 (3月)			
学校運営方針	教育基本法及び福岡県の教育目標に則り、「働きながら学ぶ夜学の生徒を中心に、生徒の未来と希望を育み、生徒が夢を知り、夢を実現させることのできる学校づくりを推進する」ことを学校運営の根幹として、定時制としての教育活動を展開していく。また、キャリア教育の更なる充実を図り、社会を構成する有為な人材になる志を持って意欲的に学び、他者と信頼関係を築き協働できるたくましい人物を育成する。				
昨年度の成果と課題	<p style="text-align: center;"><b>重点目標</b></p> <p>授業規律を確立し、丁寧な分かりやすい授業を展開しながら確かな学力の育成を行い、生徒の進路開拓につなげる。</p> <p>規範意識の向上に取り組み、安心・安全な学校生活を実現する。また、生徒と信頼がつながる人間関係の構築に努める。</p> <p>ICT等を活用した分かる授業の実践、生徒会を中心とした学校行事、部活動の活性化などによる魅力ある学校づくりを行う。</p> <p>特別支援教育の視点に立ったキャリア教育を進め、生徒個々の適切な情報提供やガイダンスの充実を図り、個に合った適切な進路選択ができるようにする。</p> <p>職員員の教育相談能力や授業力向上のための必要な研修を行い、本校の教育力・指導力のレベルアップを図る。若年者研修についても年間を通した指導を行う。</p> <p>いじめアンケートや個人面談・家庭訪問を通して、職員・生徒・保護者と連携し、迅速かつ的確にいじめ撲滅を推進し、暴力、差別は絶対に許さないという心の教育及び人権感覚の育成を図る。</p>	<p style="text-align: center;"><b>具体的目標</b></p> <p>全職員がチーム小倉南として協働しながら登下校指導・授業中の巡回指導の充実を図り、学習態度や遅刻欠席等をきめ細かく継続的に指導することにより学習環境を整えて、確かな学力の育成を図る。</p> <p>教職員が一体となった生徒指導を行うことにより、規範意識を高める。また関係諸機関との連携により、講演会などを通して、交通安全指導、性教育、薬物乱用防止教育などモラルを向上させる指導をより一層強化する。</p> <p>ICTを活用し主体的対話的で深い学びに繋がる授業に転換し、生徒が積極的に参加する授業を行う。また体育大会・文化発表会などの学校行事を、生徒会を中心として運営し、生徒目線の楽しめる行事として構成する。</p> <p>進路指導専事・特別支援コーディネーター・担任を中心としたチームを構成し、生徒個々の実態を把握したきめ細かな指導を行い、適切な進路選択を支えていく。また就職・資格・上級学校などの情報をわかりやすく提供する。</p> <p>特別支援教育・性教育・薬物乱用防止教育など本校が抱える課題に対し、スクールカウンセラーなどの外部機関と連携し、本校生徒に必要な、実態に即した職員研修を行う。また公開授業や研究授業を実施し、授業力向上に努める。</p> <p>毎月のいじめアンケートだけでなく、定期的な面談や授業・行事などにおいて、全職員で生徒の様子を見守り、変化があった場合は、いじめ対策委員会で対応を協議し、学校全体がチーム小倉南として解決にあたる。</p>			
	<p style="text-align: center;"><b>具体的目標</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>具体的方策</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>評価 (3月)</b></p>		
			<p style="text-align: center;"><b>次年度の主な課題</b></p>		
教務	<p>授業規律を徹底し、学習意欲の増進を図る。</p> <p>ICTの活用、アクティブラーニングの推進を通して、学力の定着を図る。</p>	<p>生徒自身が主体的に授業に取り組む姿勢を育てる。</p> <p>面談を積極的に行い、生徒理解に努め、授業に参加しやすい環境を設定する。</p> <p>授業規律を高める取組を通して、生徒が安心して授業に取り組むことができるようにする。</p> <p>ICTを活用し、積極的に授業に参加する雰囲気を作る。</p> <p>生徒の理解度を高めるため、アクティブラーニングを積極的に推進する。</p> <p>基礎的、基本的な問題を多く解かせることで学力の定着を図る。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>・昨年度に比べchromebookやClassroomを活用する教員が増加した。また、各学年や各教科における指導の工夫・改善により、学期が進むごとに補講・追試を受ける生徒が減少した。次年度は、授業規律等の教員間の共通理解の徹底するとともに本校の生徒に合ったALの実践に取り組む。</p> <p>・科目ごとの授業時数の偏りが減少した。次年度は、同一単位数の科目の授業時数の偏りを調整するとともに業務の平準化を図る。</p>
生徒指導	<p>生徒が安心・安全に学校生活を送ることができ環境づくりを行う。</p> <p>生徒の規範意識を高める。</p>	<p>毎日の登下校指導等の中で生徒の行動観察を行い、生徒の問題行動の防止に努める</p> <p>授業時、校内の巡視を行い、生徒の徘徊や授業妨害の防止に努める</p> <p>生徒の問題行動防止のため、清掃を兼ねて、放課後校内外巡視を毎日行う</p> <p>生徒の校外でのトラブルに対応するために積極的に外部機関との連携を図る</p> <p>講演会や集会での講話を行い、生徒が行動の善悪の判断が適切にできるよう努める。</p> <p>生徒の行動や交友関係について職員間での情報交換を密にし、生徒の人間関係に綻れが生じないように努める</p> <p>生徒会活動を充実させ、生徒の自主性・規範意識を高める</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・教員間や外部機関と協力し情報交換を密に行う生徒に対応できた。</p> <p>・問題行動が発生した際の、聴き取りや対応に関する統一的な指導の徹底を図る。また、特別指導の際に様々な教員が生徒に話をする機会を設ける。</p> <p>・登下校指導において、特に学校行事の際に下校指導の強化を図る。</p> <p>・問題行動の未然防止に努めるとともに、積極的な生徒指導により退学者を減らす。</p> <p>・非常勤講師においても、指導上の留意点や配慮事項等を共有する時間を十分に確保し、指導体制の徹底を図る。</p>
進路指導	<p>生徒の希望進路の実現を図る。</p> <p>キャリア教育の更なる充実を図る。</p>	<p>適性検査の結果や講演等を十分に活用しながら個人面談を実施し、個々の進路意識の向上を図る。</p> <p>就職・進学に関しての最新の情報を他の教員や生徒へ随時発信し、求められる知識や技能を共有する。</p> <p>資格取得の奨励や奨学金の活用により、進路の選択肢を増やし、進路実現の可能性を高める。</p> <p>各学年に応じた進路対策講座を開催し、進路を意識した有意義な高校生活を送らせる。</p> <p>社会生活で求められる能力についてしっかり理解させ、学力を高めるために、授業を大切にすることを意識を持たせる。</p> <p>アルバイトと正社員の違い等を認識させ、将来を見越した学校生活設計ができるように助言する。</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・これまで採用がなかった企業から求人・採用をいただいたことで、生徒の進路選択肢を増やすことが出来た。今後も関係機関・地域の企業等と連携しながら、就職先の新規開拓に努める。また、進路ガイダンスを6月に実施したことにより、生徒の進路意識が早期に高揚し、主体的な活動を促すことができた。</p> <p>・指導体制では、面接指導や企業対応等に多くの教員が関与できた。次年度は、4年間を見通した進路指導の充実のために、職員研修を通して全職員のスキルアップを図る</p>
保健	<p>生徒がより健康で安全に生活を送ることができるようになる。</p> <p>生徒が校内衛生について関心をもつことができるようになる。</p>	<p>食に対して興味・関心をもつことができるように、登校時間に生徒昇降口に当日の給食メニューを掲示し、声かけを行う。</p> <p>個に応じた一貫した適切な対応ができるように、他部会との連携を図り、緊急時対応訓練を行う。</p> <p>生徒が自らの生活を振り返り、自他を大切に思うことができるような薬物乱用防止教室を実施する。</p> <p>生徒保健委員会の活動を充実させ、生徒が主体的に校内衛生活動に取り組める体制を整える。</p> <p>一人ひとりの生徒が校内衛生により関心をもつことができるように、生徒保健委員の活動を周知する機会を複数回設ける。</p> <p>生徒が主体的に校内環境衛生を整えることができるように学期末の大掃除をサポートする。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>・献立や給食レシビの掲示を工夫したことで喫食率アップにつながった。給食レシビについては、まだ知らない生徒も少なくないため、積極的に周知を図り、調理に興味をもてるような新たな働きかけを考えていきたい。</p> <p>・緊急時対応訓練で具体的に教員の動きを確認できていたことで、実際に生徒の緊急対応時に一人一人の教員がスムーズに落ちて動けることができた。</p> <p>・生徒保健委員会の活動をほとんどの生徒が積極的に行うことができた。</p>
研修	<p>教職員の研修ニーズを把握し、指導力向上のための効果的な研修を実施する。</p> <p>ICTを活用した授業実践力向上のための研修を実施する。</p>	<p>若年教員をはじめとする教職員の指導力向上のため、各分掌と連携し、学期ごとに研修を実施する。</p> <p>学期ごとに職員に対するアンケートを実施し、研修内容の精査をおこなう。</p> <p>年間行事予定に基づき、各分掌と連携して計画的に研修を実施する。</p> <p>必要に応じて外部講師や外部機関との連携を図り、実践力向上のための研修を実施する。</p> <p>ICTを活用した授業改善及びアクティブラーニングを推進し、教材の共有を図る。</p> <p>公開授業や研究授業の実施・参観によって、授業改善に取り組む。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・若年教員研修3年目、2年目の研修を無事に終えることができた。研究授業の協議会の日程調整が遅くなったので、事前に各先生方の予定を確認して決めておきたい。</p> <p>・今年度実施できなかったアンケートを、来年度は各学期ごとに実施して、研修内容の精査を行いたい。</p> <p>・ICT研修は全体研修2回、個人研修は複数回実施しており、授業改善及び円滑な成績処理等のために来年度以降もさらに研修内容を充実させたい。</p> <p>・毎月の学校行事をHPに掲載することができたが、それを生徒・保護者に周知する場を設けたい。</p>
庶務	<p>本校の取組みをホームページで発信し、より一層家庭および地域との連携を図る。</p> <p>校務の組織化および学校内における連携を強化する。</p>	<p>HPの更新をできる職員の数を増やすことで、月に1回はHPの更新をできるより更新頻度を高める。</p> <p>部活動の大会や学校行事の様子をHPに掲載し、保護者や地域の方々へ本校の取り組みを発信することで連携を強化する。</p> <p>中学生体験入学などの行事を通して、本校の魅力を発信する。</p> <p>分掌における役割分担を明確にし、定期的に会議を行うことで業務の効率化を図る。</p> <p>行事予定を早期に職員で共有し、見直しをもって業務にあたるようにする。</p> <p>総探やHRで使用する教室の利用状況を明確化し、全日制と連絡をとる。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>・分掌内の業務分担を明確にし、定期的に会議を開くことで見直しをもって業務にあたることができたが、毎月の行事予定表を早めに生徒・保護者等に配布するため、行事予定会議の実施方法について検討が必要である。</p> <p>・全日制との共用の施設や部屋について使用する際の連絡を密に行いたい。</p>

A